
しろはく活動記録

古地図と城の泉 第37号

おんな城主井伊直虎ゆかりの井伊谷

井伊谷大明神家伝来古絵図古記録

平成28年9月1日

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

城郭現地調査報告及び資料調査

博物館事業報告

1・おんな城主井伊直虎ゆかりの地 井伊谷 富原文庫蔵井伊谷大明神家伝来古絵図古記録

真田で始まり、真田で終わる一年と思いきや、静岡県引佐郡井伊谷村、今の浜松市、そして群馬の箕輪城、高崎城、安中城、滋賀県の佐和山城、彦根城等井伊氏ゆかりの地がざわついてきた。来年の大河ドラマおんな城主井伊直虎の舞台である。幕末まで存続した井伊氏の資料は彦根城博物館に残されている。ただ、発祥の地である井伊谷（いいのや）の資料は散逸しているようだ。これまで、井伊軍記や井伊直政家譜、井伊記等井伊家の伝記類は手元にあるが、機会があり、野田城絵図を含む井伊谷大明神の資料を相当前に入手した。古城絵図等古地図類は整理したが、木箱4箱に及ぶ古記録は整理出来ていなかった。このほど、ようやく目録を作成し結果、井伊城内社井伊谷大明神主中井家による詳細な歴代記録と判明した。



おんな城主井伊直虎とは

平成29年の大河ドラマは井伊直虎と決定された。井伊家22代直盛の娘として生まれ、24代直政の父23代直親の謀殺の際、井伊家が存続の危機に立つと井伊直虎と名乗り、井伊家を支え、その危機を救ったとされる。三方が原の際は武田の家臣山形昌景に降伏、信玄死後、井伊谷を回復した。天正3年に養子直政を徳川家康の家臣とし、徳川四天王となる井伊家の土台を構築した。天正10年8月6日死去、井伊家菩提寺井伊谷龍潭寺に埋葬された。

井伊谷大明神旧蔵資料

井伊谷大明神は井伊家元祖井伊共保を祀り、井伊城内社として、朱

印地であったが、今は残されていない。膨大な古記録はすべて井伊谷大明神歴代神主中井家による記録であり、井伊谷大明神存続記録が詳細に残されている。その尊崇の念は修理に際しての勧進でも江戸藩邸、彦根本庁等数百人に上る。残存する資料も大正時代の古記録まで入れると数百点から千点近い。

これまで井伊谷城(山城)については調査されているが、山麓の井伊館や井伊谷大明神について、語られることはほとんどなかった。多くの由緒書を翻刻することで井伊谷の詳細な記録が明らかになる。機会があれば、関係地で展示紹介したい。

富原文庫所蔵おんな城主井伊直虎関連資料目録

平成28年7月31日

井伊氏関連資料

- 1・井伊直政家譜 写本 10丁 井伊系図 内容は井伊谷古文書古記録8藤原井伊系図と同様
- 2・圓心上書上下巻 写本 63丁 井伊直孝事績 中野圓心上書
- 3・井伊直政記口伝全 写本 32丁 兵法秘口伝24ヶ條 兵法書
- 4・井伊記 写本 47丁 軍法・禁制・陣立・陣取小屋割絵図8図・八陣等慶長元年兵法書
- 5・井伊軍記類纂 2冊 城築・攻城・守城・陣取・図解陣取・図解城築等兵法書 177丁

静岡井伊谷大明神家伝来文書

古絵図26種28枚

- 1・三州野田古城根小屋ト云 25 x 39 cm 彩色絵図 色彩は異なるが、描画内容文字は同一
- 2・三州野田古城根小屋ト云 25 x 39 cm 彩色絵図 色彩は異なるが、描画内容文字は同一
- 3・味方原合戦 天保10年中怒撫写1839年 25 x 39 cm 彩色絵図
- 4・長久手御陣 天保10年中怒撫写1839年 25 x 39 cm 彩色絵図
- 5・(長篠城絵図) 25 x 39 cm 肉筆絵図
- 6・桶狭間合戦 天保10年中怒撫写1839年 26 x 39 cm 彩色絵図
- 7・姉川御陣 天保10年中怒撫写 25 x 39 cm 彩色絵図
- 8・吉田城並二連木砦合戦 天保10年中怒撫写 25 x 39 cm
- 9・彦根御殿絵図 良直持 79 x 86 cm 彩色絵図 彦根城表御殿の内、奥方を除く部分絵図
- 10・(都田村絵図) 都田村八幡神主影山出雲 寅6月写 天保13年1825年か 28 x 40 cm
- 11・都田村八幡宮社地絵図 神主影山出雲 28 x 40 cm
- 12・大日本国四橋之内遠江国濱名橋式箇所之古図 井伊古御所奉守中井直怒 彩色図 82 x 82 cm
- 13・江戸御城(御殿図) 本丸御殿絵図 痛み有 55 x 95 cm
- 14・信州川中島合戦 天保10年中怒撫写 38 x 54 cm
- 15・(関ヶ原合戦絵図) 彩色絵図 62 x 86 cm
- 16・(蝦夷絵図) 肉筆絵図 54 x 98 cm カラフト島とあるも絵図地続き・別にサガリインを北海中の一大国と記する
- 17・山本晴幸繩張世俗海津城之城ト呼称ス 信州川中嶋之城図 天保10年中怒撫写 28 x 38 cm

- 18・(遠江国絵図) 金谷宿から見付宿・高天神・横須賀城・二俣町等記入 33 x 47 cm
- 19・(江戸湾略絵図) 弘化4年1847年 江戸城を東都城と記す
- 20・井伊城御旧跡ノ図 木版 本丸ノ内1丁半四方当時井伊大明神御社中二相成申候 昔の本丸
大手御門ノ跡 井伊大明神は井伊城本丸 28 x 40 cm 同種3枚
- 21・御拝殿二十分一之図 41 x 108 cm 建築正面・側面 井伊大明神
- 22・板塀十分一之図 28 x 40 cm 建築正面側面 井伊大明神
- 23・(御本社・御拝殿平面図) 28 x 40 cm 井伊大明神
- 24・御本社五分一之図 68 x 116 cm 正面図・側面図 井伊大明神
- 25・御塚御石塔之図 嘉永4年9月7日 御馳走御奉行所宛中井伊予 6基絵図
- 26・天正三乙亥年五月二十一日三河国長篠合戦之図 53 x 80 cm 彩色絵図

長篠合戦場所之覚 6条40行・長篠合戦之時信長公味方人数之覚 4条15行・同長篠家康公
人数之覚 4条12行・同長篠勝頼公宛人数之覚 6条4行・以下合戦人数 23行

- 26・(井伊大明神周辺図) 33 x 48 cm

古記録 20種

- 1・井伊大明神御本社御拝殿御普請積り書 明治4年 井伊大明神神主中居真雄宛 7丁 大工
方・木入方・屋根師・鍛冶等6名黒印署名
- 2・覚 一国御絵図御仕立二付当社領並神主屋敷地形之儀正保二酉年以来変地無御座候勿論国境郡
境論所等無之前々之通二候為其如此二御座候以上 遠江国引佐郡井伊谷村二宮神主中井弥五井衛
門 元禄拾三年辰四月二八日 服部半右衛門外五名宛 正文と写し3枚
- 3・彦根御内家宮繕方御役人中様 井伊大明神之主中居真雄書状 4月2日 15 x 181 cm
- 4・口上 御本国故城地 井伊大明神之儀者遠江之国司從三位共保公之廟祠也嘉保二季春井伊城内
於井戸之傍被成御造宮依遺命而 (以下社歴略) 嘉永四年亥十月遠州引佐郡井伊谷神主中居伊予(直
怒刻印) 井伊大明神由緒書
- 5・引(佐)郡中取調明細帳 23丁 村毎に石高、履歴記入
- 6・古絵図面入 明治20年亥4月改置 14種の絵図明細 すべて別記絵図有
- 7・奉願上候口上覚 永禄五年遠州表以下履歴 天保十二年先船与惣左弓二宮神主中井伊予 天保
十二年井伊谷御役所
- 8・藤原井伊系図 鎌足一共保 伝曰共保者中略一直満一直親一直政(直虎は見ない) 一直孝
詳細な井伊系図
- 9・二宮大明神御由緒書 遠江国引佐郡井伊谷村神主中井真雄 明治3年4月 神祇官御役所宛
5丁
- 10・御由緒書 井伊大明神履歴 18丁
- 11・世良田之略系 徳川系図 2通
- 12・御由緒書 13丁 井伊氏履歴
- 13・彦根中将殿御由緒要用書 御玉垣御普請入用書寅六月改 一品持軍營之宮人 佐衛門佐源直
清 18代之嫡裔 中藤直怒
彦根動跡録 遠井故城下神主屋鋪 48丁 彦根城下町々勸進帳
天保十二年丑夏御免勸化帳 東都桜田様御定府方 遠州井伊谷萬松山龍潭寺 16丁
御本国故城地 井伊大明神儀以下略
江彦御藩中 37丁 彦根藩勸進帳

天保十二年武州野州勸化帳写 8丁

天保十二年丑夏勸化帳 江州南筋 遠州井伊谷萬松山龍潭寺写 20丁

江州北筋 18丁

14・奉差上口上覚 井伊故城地二御座候古キ五輪石塔之儀以下略 嘉永4年遠州井伊谷神主中居伊予 御馳走御奉行所

15・濱松御城主井上河内守様 明和九年辰二月十四日 御宿割帳 井伊谷控 7丁

16・井上河内守様鳳来寺御道人足割元帳 明和九年二月十三日 井伊谷村

17・濱松御役所御町奉行所江以下略 文化九申年四月井伊谷御本陣中井与惣左衛門 御地頭様御役所

18・享保八卯十二月殿様御用金差上ヶ候御証文 中井与惣左衛門 請取書之事 天和二年近藤彦九郎様御用金借用之手形一通 天和三年亥右之金十二年之納以下略 井伊谷中井与惣左衛門 享保十五年二月一六日入野村鈴木喜平治殿

19・上 井伊谷御本陣中井与惣左衛門 口上書 文化六年九月火災被害にかかわる願書 近藤常吉知行所当国引佐郡井伊谷本陣中井与惣左衛門 (黒印) 濱松御役所・文化五年辰御届・文化九年書状二計四通

20・上 御本陣中井与惣左衛門 寛政四年御宮御修復 近藤常吉知行所当国引佐郡井伊谷本陣中井与惣左衛門 文化九年 松平内道様御手附小野次郎吉殿・慶安元年月三州鳳来寺御宮御建立二付為御見分濱松城主太田備中守様並江戸御役人杉浦内膳様長谷川太郎兵衛様三州御代官鈴木八右衛門様御通行・文化六年書状・松 忠兵衛書状井伊谷中井与惣左衛門宛・井殿之屋敷儀慶長十一年松常慶康花押 中井与左衛門内同助七郎殿・井殿屋敷の儀慶長十一年松下常慶 いいのや与惣左衛門殿

木箱1・書状箱

1・中居伊予様 彦根[]役所 嘉永元年10月17日到来

2・中井伊予様 井伊源左衛門 天保14年4月3日

3・中居伊予様 井伊[平]十郎朝俣

4・遠江国引佐郡井伊谷村之内

御朱印地一高四石五斗 二宮領

御朱印地一高壹石六斗五升六合 同神主屋鋪 中略

同国同郡井伊谷村二宮神主中井伊賀 (黒印)

天保三壬辰年八月 御役所

5・遠江国引佐郡井伊谷村之内

御除地一高貳石壹斗三升九合 井大明神領 中略

天保三壬辰年八月 同国同郡井伊谷村神主 中井伊賀 御役所

6・社領之事 合五石 右御寄附所之 祭礼収蔵等以下略 伊奈備前忠次 辰八月一九日

[統]田村大明神

7・神主屋鋪高並取附覚 一高壹石六斗五升六合 御朱印二神主屋鋪壹ヶ所[以]御座候

遠江国引佐郡井伊谷村之内同国同郡井伊谷村二宮神社中井弥五衛門

元禄十三庚辰年正月

8・遠江国引佐郡井伊谷村二宮大明神神主中井伊予 社祭許可状

神祇管領最上家公文所 安政五牛年五月

- 9・中居伊予宛書状 乾八郎当令・青木兵[□]義制・脇坂[□]左衛門成繼
- 10・紗狩衣細烏帽子 之事御許[□]也 寅閏七月 鈴鹿石見守長存花押・鈴鹿出羽守長生・鈴鹿豊後守連一 中井伊予様
- 11・把筭之事許容藤原直英議向後可用之状如件 天明四年五月十日 神祇管領 (朱印)
- 12・元文元丙辰年寺社領分割引 以下略
- 13・三浦内膳正猷花押状 中居伊予様 八月 虫損
- 14・遠江国引佐郡井伊谷村井伊大明神及当社神主中井伊予 神祇管領最上家公文所 (朱印) 安政三辰年十月
- 15・紗狩衣之事・細烏帽子之事 右御許[□]也 鈴鹿兵部道益・鈴鹿筑後守[□]応 中井伊賀殿
- 16・遠江国引佐郡井伊谷村二宮大明神神主中井伊賀宛書状 神祇管領最上家公文所 (朱印) 文化五辰年十二月
- 17・中井伊予様 井伊源左衛門朝直 書状
- 18・社領高並取附覚 一高四石五斗 遠江国引佐郡井伊谷村之内同国引佐郡井伊谷村二宮神主中井源五左衛門 卯七月
- 19・遠江国引佐郡井伊谷村之内御除地 後略 同国同郡井伊谷村神主中井伊賀 (黒印) 天保三壬辰年八月 御役所
- 20・享保十六年寺社領引割合・同十五年・同十三年・同二十年・同十九年 5通
- 21・系図写 鎌足公一井伊元祖井伊谷住居共保一飛驒高山城主海野政久一 中略
- 22・一札之事 神宮寺村組頭以下7名黒印状 天保14年 井伊谷二宮神主中井伊予様
- 23・慶長九甲辰年伊奈備前守奉行召從 公儀御檢地
- 24・文禄慶長元和日記写 中井氏
- 25・享保十八年丑八幡大向領分割引 十月二十七日
- 26・証文 遠江国引佐郡井伊谷村御除地 元禄十三年七月 井大明神神主 中井弥五左衛門 青山下野守御内六名連記
- 27・請取申御扶持方之事 米合四石三斗五舂志 但京舂也 近藤彦九郎組伊奈源左衛門・小野田孫兵衛 元禄十四年巳年七月 本多彦右衛門・浅野半右衛門
- 28・三分一図明神ノ社領二申請松下常慶殿方同年牛三月七日二墨付与忠左衛門申請候 慶長十一年墨付之事・権現様駿府御在城之御時方駿河大納言様御代迄從 公儀御触等議井伊谷筋以下略 正保二年檢地之時先例 慶安三年一寛文九年まで記録

木箱2・54x18x高さ20cm

- 29・井伊直孝花押書状 龍潭寺宛 6行書 (前略) 醒井餅壺桐納豆一新抹茶 (以下略)
- 30・上 二宮大明神神主中井伊賀 慶応4辰年皇政御一新二付御達し有之間 二宮御由緒井大明神 (以下略) 井伊谷館中井七太郎代 以上封紙・以下中の書状11通 御一新關係書類一式
- A・口上書 中井伊賀 封紙 今般皇政御一新二付旧幕府判物京都江 (中略) 大砲報国両隊 (中略) 大総督宮様江 (以下略) 慶応4年7月13日 井伊谷村二宮神社中井伊賀代人 (略) 井伊谷御役所
- B・上 神宮寺村八幡宮神主山本^会木倅瑞枝 以下内容Aと同意
- C・上 二宮大明神神主中井七郎 中井伊賀事七郎 改名御届 井伊谷村二宮大明神神主中井七郎。出兵仕居留守中二付代人前家与五兵衛印 辰八月 井伊谷御役所
- D・上 二宮大明神神主中井伊賀 口上書付申上候 二宮大明神祭礼の件 (略)

E・上 二宮大明神神主中井伊賀 同内容 黒印

F・上 井伊谷村二宮大明神神主中井伊賀 同内容

G・上 二宮大明神神主中井伊賀 神社由緒取調 (以下略)

H・井伊家墓所の儀 明治4年 引佐郡井伊谷村預人中井猶次以下4名黒印状 浜松郡方御役所

I・H同文

J・口上覚 皇政御一新二付神職葬祭之儀 (以下略)

K・覚 金子入書状大封一 (以下略)

31・神社由緒書写シ 遠江国引佐郡井伊谷村二宮大明神神主中井伊賀 7丁

32・慶応四年諸用留 従辰三月 中井家 182丁に及ぶ届出書の控帳

33・慶應四歳諸用留日記 辰五月吉日 中井伊賀 28丁 32の下書きか、すべての頁に消線

34・先祖書 寄合近藤隼人 20丁 藤原姓近藤 清康公三州宇利山御狩之節以下略 近藤石見守康用以下記入72才病死龍潭寺葬一近藤秀用味方原長篠高天神参陣慶長7年上州邑楽郡青柳5千石小田原大坂陣鉄砲頭一近藤用将5450石一近藤用慶一近藤用連一近藤用純以下8代まで寛政4年近藤隼人

35・藤原姓 井伊谷守護職中井館蔵 11丁 徳川家系譜・藤原姓三州八名郡中宇利 謹上三河国不残権現様御手当候以下略このころの井伊谷の記録 小谷・味方が原・長篠・横須賀・高天神・諏訪之城・田中城・甲州オツコツ陣・長久手・小田原・奥州・関ヶ原参陣井伊谷三千石 享保十七年

36・従明治二十一年至同二十五年願伺届綴 守部中井直雄 184丁 宗良親王御墓修理記録 遠江国引佐郡井伊谷村宗良親王御墓所内外御門及土居御修復入費目論見帳 宗良親王御墓沿革略図 明治八年修繕以前の図・改修図・御塔之図

37・元禄より享保6年記録覚書 114丁

38・享保十四歳井伊谷日記 巳酉5月吉日中井與惣左衛門近直代 184丁

39・明治十二年・十三年御墓所奉務表 宗良親王墓掌中井真雄山下文太郎 十二か月 二冊

40・明治四年三月彦根用書入 中井與直 書状三八通

A明治四年三月井伊大明神御社御造営方二付彦根藩ヨリ用書入 中井與直代 書状四通

B東京彦根・彦公用記 中居伊賀殿公用人中 七月六日発 井伊大明保

C・江戸藩邸。彦根藩からの書状三二通・金封袋六通・

41・勸諭録御城下是は壱ヶ年ト集 88丁 彦根城下町勸進帳

42・慶安弍年丑ノ九月弍拾日 井伊保観音寺建立ノ時寄進帳 願主中井弥五衛門 横長9丁

43・銘曰 銘文 御朱印地二宮明神鐘高さ2尺1寸差渡1尺9寸右井伊家古城地之内二宮明神鐘之儀 長元年中井伊備中守共保井伊城草創策五百三十余年御永城永禄年中迄時鐘二持処永禄七年当社江御寄附二古城居候処元龜年中味方原御陣之節甲州勢引候之砌リ乱防兵火二焼仕候寛文年中右由緒ヲ以先祖中井直頼彦根公御家中並二御領分中勸化仕右焼鐘二加へ再鐘仕当節迄以下略 近藤遠江守知行所遠江国引佐郡井伊谷村御朱印地二宮明神井伊明神両社神主中井伊予 安政三辰年三月 中泉御役所

その他 先祖書六丁・源氏八丁・近藤家日牌高野山藤の御坊14丁・明治12年第1号演説会日誌・井伊大明神之儀・桜田御留守居御役所書状5通中井伊予宛・近藤家御先祖・その他25通 木箱3・要番箱 井伊谷村第四区 箱裏書 大正10年8月製之 書類箱井伊谷村第四区

28 x 60 x 高さ32 cm 木箱

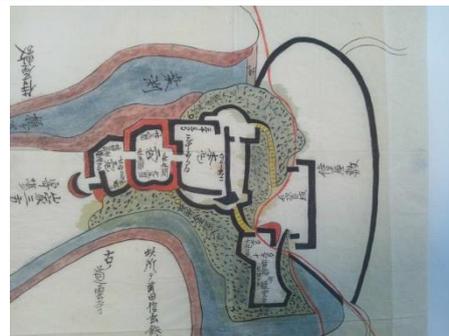
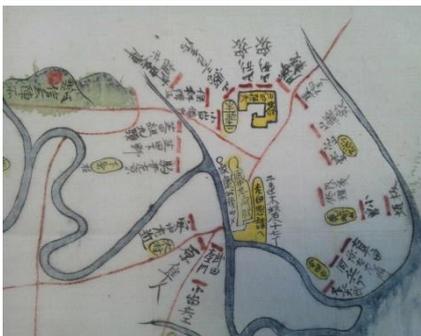
明治後半から大正エンタイヤ等明治地券多数・井伊谷宮社務所中井家宛書状、葉書等明治大正期の資料数100通

木箱4・二宮領御朱印 24 x 85 x 高さ44 cm 木箱

中井家旧蔵古文書 正保・元禄・享保・天明・天保・明治20年まで 手形・触書・系図・彦根旅日記・古棟札写・目録・彦府日記・願書・関流算術・新田定め等数100通

井伊城御旧跡ノ図

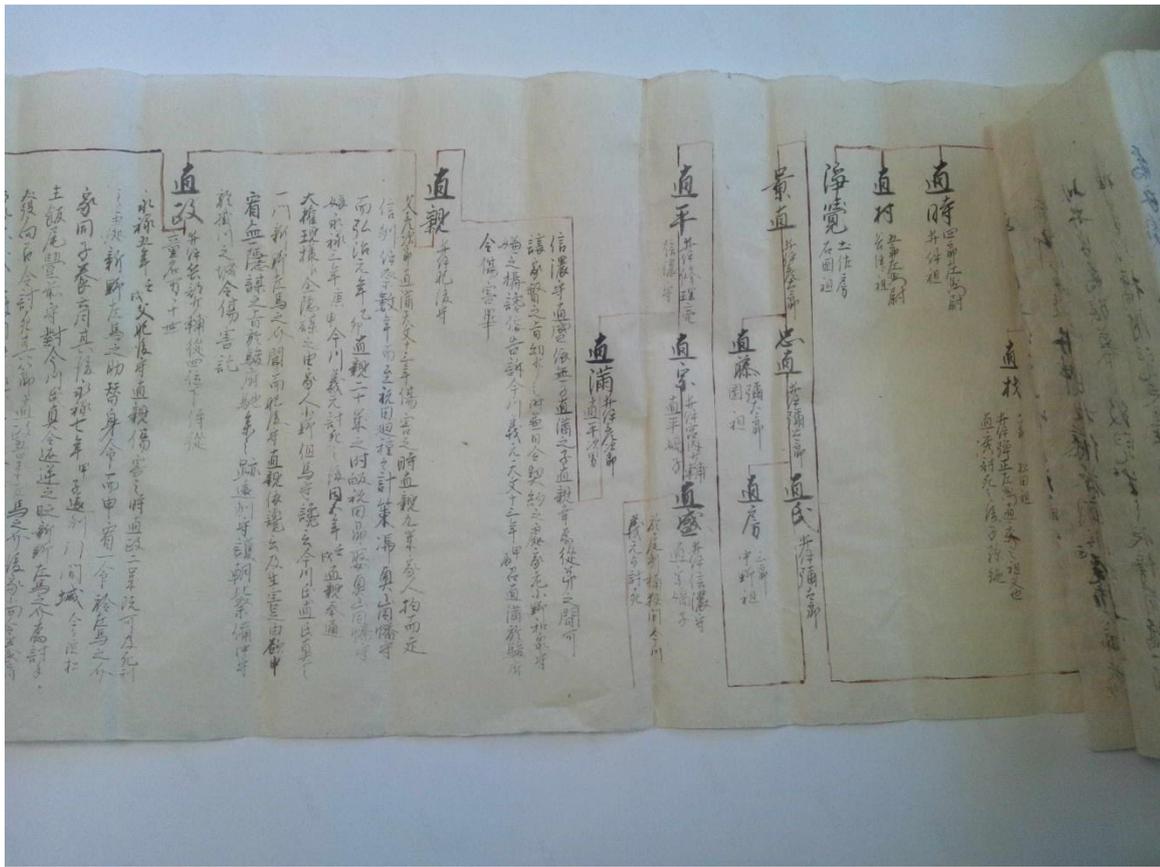
井伊谷大明神木版画 本殿、拝殿、宗良親王誕生石、井伊直満直義御塚、本丸大手門跡



吉田城二連木砦合戦 攻め手に真田源太左衛門、兵部、安中左近が見える

三州野田古城 天正元年武田の猛攻を受け籠城戦を展開し、開城した。縄張の現状に近い正確なもので、今は亡き、三の丸馬出や二ノ丸周囲の空堀が描かれている。図中に武田信玄鉄砲二中ル也

井伊系図 直盛一直満一直親一直政部分 直盛の子、直虎は見えない



富原文庫蔵井伊家記 下段は井伊軍記全2冊



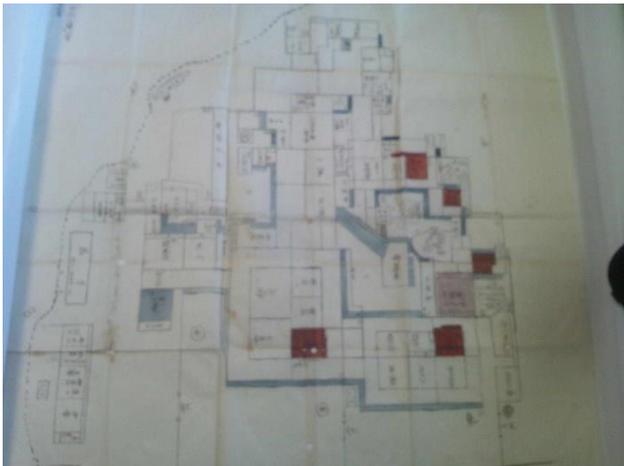
長篠城絵図



海津城絵図



長篠合戦絵図



彦根御殿絵図

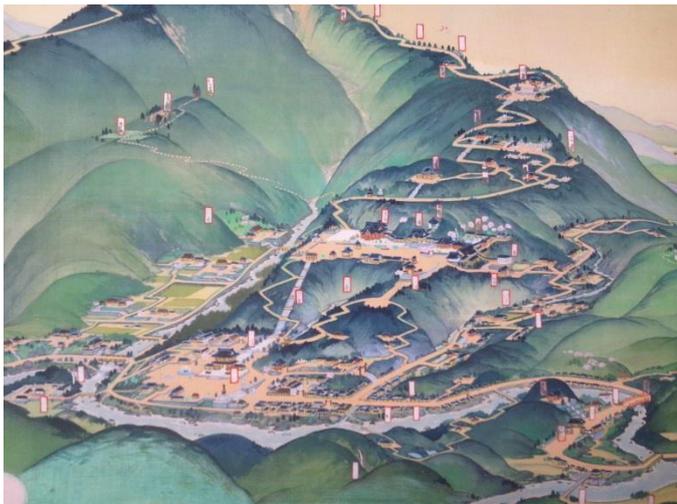


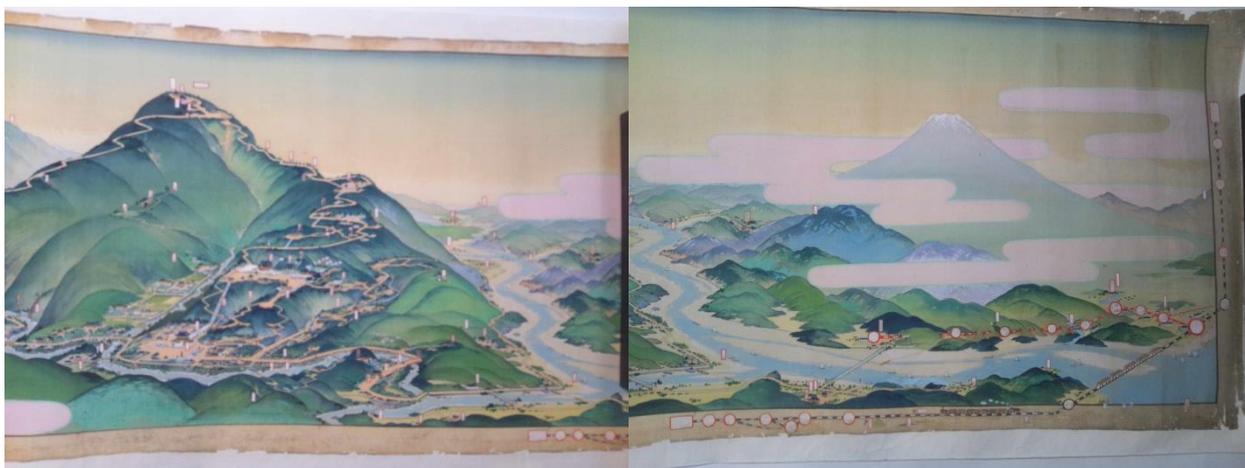
井伊谷大明神本殿図

2・初三郎原画参詣案内身延山図絵

前回購入したことは記載しましたが、調査が出来ましたので公開します。初三郎の署名と朱印があるのですが、地名が記入されている白枠の胡粉が地名表示とともに剥離しており、正式名称に確信が持てませんでした。東京古地図倶楽部初三郎研究家藤本一美氏に相談したところ、神田の永森書店の目録裏表紙に80万円で掲載されていたとのこと。入札会の出展者は永森さんでした。懸案の初三郎印刷図は出てこないとのことでしたが、同じ構図の新実南果の参詣要覧身延山図絵をお送りいただきました。同時に所蔵資料で佐野国太郎の身延山七面山案内図がありました。絵柄としては著名であり、原画の題名もほぼ確定ですが、さらに確認します。

中央、身延山東照宮





左中央右

3・東京ビックサイト骨董ジャンボリーに参加

8月5－7日日本最大の骨董市に参加しました。世界地図、世界各地地図、日本地図、道中図、中国地図、朝鮮地図、台湾地図、江戸図、江戸切絵図、東京明治大正戦前、神奈川、千葉、茨城、埼玉、栃木、群馬、長野、北海道、九州の古地図数千枚を紹介、錦絵風景、歴史、戦争、役者、相撲、教育版画、古文書多数の大名書状、兵法書を展示。魯山人の小皿、魯山人と大観の日の丸、象、虎、駱駝の3枚セットの瓦版、満州重工業開発室資料、台湾地図等、さらに東京地図の均一品はよくお買い上げいただきました。中国や九州等各地から来場されました。



日本最大の古地図専門店です。

やっと設営、疲れました。

4・古書同好会目録9月15日号に古地図、古典籍480点掲載

校正段階で関係者の送りしましたところ、各地教育委員会より問い合わせをいただきました。多くの資料は地元にあるのが、良いと考えています。必要な場合は早めに連絡ください。よろしくお願いいたします。

5・陸軍省城絵図撮影データの検証作業でトラブル。

戎光祥出版さんから撮影画像の確定検証作業依頼があり、データすべてについて絵図との比較検証を行いました。取りあえずは編集割付のための作業ですが、これから正式に絵図名を入れる際は、絵図の検証作業も必要となります。道は近くないですが、とりあえず、絵図消滅等万一の場合の記録はデータとして残すことが出来ました。多くの中近世城絵図も公開したいと考えますが、第一歩です。慣れないパソコンでPDFに城名を入力、プリントアウトしたら1日かけたデータが消えてしまいました。出力が出来たので編集への連絡が出来たのと、文字入力前の元データを保存していたのが幸いですが、丸一日かけた文字入りデータが回復できず、某全でした。

新収集情報報告

掲載は入手順に入手後、翌日に記載しています。メモ代わりの備忘録ですので順不同です。

掲載分類は城郭図、城郭錦絵は城郭、群馬地図、資料は群馬、錦絵地図は錦絵、地図類は航空写真も地図、錦絵軍事、砲術、調練は軍事、後はタイトル通りです。

1・古絵図・古地図

- 身延山七面山案内図** 鳥瞰図昭和10年 佐野国太郎 18 x 78 cm 表紙付
- 山梨鳥瞰図** 山梨民報社 19 x 78 cm 裏広告山梨水晶(株)
- 秩父観光案内** 秩父鉄道 皆川日承画 18 x 77 cm 表紙付
- 明治新版大日本早引細見絵図** 筒井庄八 明治21年 木版2色刷 37 x 177 cm 袋付
- 初三郎絵葉書** 京都遊覧架空索道・桃太郎・高良神社・伊勢神宮・北日本汽船・筑後鮎・成田山・宮津港・筑後川・彩雲閣・筑水涼風・唐津・志賀高原・建国大和3枚・御かげ参り2枚・奈良3枚・佐渡・篠山城跡図絵
- 柏崎町略図** 絵葉書袋 柏崎実業協会 絵葉書3枚入り
- 大日本諸国道中細見図** 辻本九兵衛編 明治13年 銅版色刷 37 x 145 cm
- 日光山鎮座東照宮明細絵図** 明治13年 菊池伝蔵 銅版細密 42 x 63 cm 表紙付
- 野州古峯神社略図** 長谷川竹治郎 木版色刷 明治16年 37 x 50 cm 袋付
- 東京区分絵図全・改正東京区分町鑑** 明治13年 37 x 51 cm・17 x 23 cm 銅版色刷
- 新撰豆州熱海温泉全図** 明治26年 石版 細密鳥瞰図 40 x 54 cm
- 改正新鑄東京実測全図** 明治28年 井上勝五郎 銅版色刷 63 x 72 cm
- 最新大広島市街地図** 昭和4年 胡麻修三 54 x 79 cm
- 大分町平面図・大分概観** 明治40年 39 x 54 cm 佐藤蔵太郎
- 最新浦和市全図** 須原屋書店 昭和18年 色刷 74 x 104 cm
- 京王電車沿線名所図絵** 初三郎鳥瞰図 昭和3年
- 諏訪大観** 常光鳥瞰図 昭和4年
- 石川県温泉案内** 石川県温泉協会 外二郎鳥瞰図 昭和10年
- 文献** シーボルトの日本博物館・

2・古典籍・古記録

- 一新大日本帝国道中記全** 松井与兵衛編 明治17年 銅版画帖
- 切支丹来朝実記** 文化4年1807年 写本

3・印刷資料

4・錦絵・引札・双六・絵葉書・古写真

絵葉書 樺太豊原樺太庁・大泊港栄町本通り・埠頭・野田町の全景・泊居市街の全景等樺太14枚

5・軍事資料・武器武器

俄羅斯海冠事略記全 文化元年露西亜人・樺太島異国人来る事・列堂小田原評議・異国船渡来御国備覚・文化5年長崎異国船・函館方宗谷道中記 文化争戦記・文化異国晰 絵入写本 上山藩 68丁

松本歩兵第五十連隊之図 明治41年 山内実太郎 藍刷 石版 40 x 55 cm

文献 西南戦争の記録第4号・5号・水戸天狗党と新撰組高台寺党・古式銃砲鑑定の手引・

6・城

城版画秋の姫路城 きたおかふみお 1974年 42 x 56 cm 額装57 x 74 cm



欧版稜堡城郭図 銅版 五稜郭、外郭、出城11、四稜郭、シナコングの攻防とあるが不明 25 x 35 cm 額入り

城郭文献 史跡松本城保存活用計画案・高松御城下絵図・**国指定史跡八王子城跡整備活用事業報告書**・**国指定史跡八王子城跡保存管理計画書**・喜連川御城下・佐久間兄弟と長沼藩飯山藩・園部の町風景城下町いまむかし・龍野城物語・大和高取城研究・絵葉書から見る城郭移築建造物・旧犬山城郭図・幕藩体制と城郭・

城郭絵葉書 **慶尚南道釜山鎮小西行長の城跡2枚**・京城南大門・京城市街南方の一部城門・平壤大洞門及練光亭・練光亭より上流・平壤玄武門表・京城東大門・旅順要塞5枚・



釜山鎮城

水戸城・岐阜城・高松城4枚・松本城3枚・大坂城30枚・姫路城・犬山城・名古屋城15枚・彦根城2枚・岡山城・松山城・九州観光の中心地久留米篠山城址公園図絵初三郎・津城跡・

7・群馬郷土資料

太田町優良商店案内商売繁栄双六 昭和10年 玉盟舎 新聞15社扱 36駒に広告 54 x 79 cm 色刷 群馬県太田市の当時の商業実態を知ることができる

府県道中野條上田線鳥居峠道路開通記念絵葉書 昭和8年 群馬県 4枚揃

群馬県立憲政友会選挙関係資料 昭和2-12年 得票表・選挙公報・演説会日割表等38点

8・資料

あとがき

1・古書目録と絵葉書・美術品

ほぼ毎日全国から古書展目録や古書目録をいただき、この処めだって城郭絵葉書が高い、先日も

段ボール1箱の一般絵葉書10万円で買えない。市場でも朝鮮の絵葉書100枚ほどで5万円と高額である。城絵葉書を買う時代は終わったように思う。古書目録に白黒絵葉書がカラーで掲載される時代である。城跡の貴重な絵葉書は今後も発見されるであろう。そこに資料性がある限り追求することになるが、最近はお売りの方が安いように思える。これも白熱したネットのせいだろうか。古書業者のほとんどが自ら評価することなく、お客の評価に任せている。いかななものか。同時に多くの業者さんに感謝しつつも、資料性のない美術品である城郭版画額、模型類の購入もそろそろ見合わせる時か。家じゅう城であふれるのは夢かと思ったが、通路も玄関も埋まってくるとさすがに考える。城コレクション交換会でもあれば、城美術品はすべて提供するのだが。

2・シーボルト没収日本地図視察

シーボルトはその功績はともかく、前半の列強並のスパイであった時代は好きになれない。佐倉の国立歴史民俗博物館のシーボルト展、車で片道4時間、諸経費12000円、入場料820円、展示されていたシーボルト肉筆日本地図見たさに、丸一日つぶして出かけた。1828年シーボルト、32歳の軍人が持ち出したのは展示会ではカナ書き伊能小図の写しとされ、現物が展示されていた。同時に展示されていた改正京町絵図細見大成や武蔵国図は当博物館玄関に常設展示してある。それにしても遠い、関東平野の西北から東の端に行ったようなもので、さすがに東京時代と違い、行動の不便を味わった。佐倉城の広大な角馬出は何時みてもほれぼれさせられた。地元の行きつけの骨董商にも何もなかった。

3・山県謙二旧蔵書頒布会終了

膨大な量の貴重資料の城郭研究者向け頒布会は終了した。さすがに前回のように一人で100万円も買われる方はいないが、多くの方に発注いただいた。残余の文献については、同好会目録に掲載し、一般の読者に頒布を計画している。積上げられた2500点余の城郭文献を一点ずつ確認し、受注分を選出し、梱包、請求書作成、発送したのは8月16日だった。今回はかなり、安く設定したので、1冊ずつの資料を見ながら、安いのではないかと思いつつ、買われた方には好評でした。前回のような勢いが無いのは、ネットの時代であることと、城郭研究がこの10年程で飛躍的に進展していることであろうか。これまで、桜井成広、藤崎定久等著名研究者の城郭資料が市場に流出し、回収してきた。出来れば、今回のように研究者間で資料のやり取りができればと思うが、引取、目録作成、荷だし、梱包、発送、入金と手間を考えるとボランティアに過ぎず、担い手はいないかもしれない。

発行所

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

379-0109 群馬県安中市秋間みのりが丘5-73

携帯電話 090-2722-4689(しろはく)

FAX 027-315-4689(しろはく)

Eメール shirohaku@kym.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.shirohaku.com/>

ミュージアムショップ 群馬県古書籍商組合加盟

古地図と城 古書肆 城郭文庫

代表

富原道晴
